



コアラが好きだから コアラを作って助ける6歳の 男の子

心
あ
つ
た
か
ニ
ュ
ー
ス

NMCAA
NO3

オーストラリアの森林火災で犠牲になった野生動物は12億匹以上と言われ、胸が痛くなり、多くの支援団体やボランティアが活動しているそうです。アメリカでkのことを知った6歳の少年オーエン・コリン君は、このことを知った時、部屋にこもってしまったそうです。それまでは、レゴや自分のことに気を取られていた少年は、雨が降って動物たちに安息が訪れることを願って、雨の中に佇むカンガルーやコアラ、デインゴの絵を描きました。そして母親に「何か自分にできることはない？」と尋ねたそうです。お母さんとオーエン君が話し合っ、プロジェクトをスタートさせました。家族や友人に呼びかけて集めたお金を寄付をする。50ドル以上の寄付をした人にはオーウェン君が手作りした粘土のコアラが贈られる。というものです。可愛らしいコアラの評判は上々で、目標額約38万円を大幅に上回る、

約1905万円の寄付が集まっている。ということ。予約が殺到して制作が追い付かない状態だ。という。オーエン君は「僕は動物が大好き。その中でも木登りができるコアラが一番好きなんだ。オーストラリアについても、この国の動物についてもみんなに知ってもらいたい。この前コアラパーティをしたんだ。幼稚園のクラスメイトみんながコアラ作りを手伝ってくれたんだよ」と語っている。自分も何かして、助けになることをしたいという純粋な気持ち、周りを動かして大きな動きを作るのだと思いました。大人の方がなぜか難しく考えてしまっているように思えました。多くの方が心を痛めていることに、純粹に行動している子供がいます。(テックインサイトより)

生徒をハグで救ったコーチ

アメリカの高校で、一人の生徒がショットガンを持って教室へ入ってきた。その時、その場にいたたフットボールと陸上のコーチが容疑者をなだめ、廊下へ行くよう促し

そしてコーチは銃を持った生徒を抱き止めた。生徒はその手を振り払おうとしたが、やがて受け入れ、ハグをした。他の教師が来て、ショットガンを持ち去るが、その後、コーチは生徒を抱きしめ続け、校内での銃撃事件を未然に防ぐことができた。(スウィッチニュースより)

編集後記

悲しいことが起こっても、助け合えるのが、人間の良さ。だと感じられるニュースでした。6歳の男の子の作るコアラ、そしてコーチのハグもとても温かいです。温かさは、多くの人の心を元気に、前向きにさせてくれるものだと思います。人っていいなあ